

コンセント型感震ブレーカー

三和商事

工事不要で通電火災防止

防災・防犯用品の販売を行う三和商事（千葉県市川市）は、「通電火災」の防止に役立つ感震ブレーカー「zen断+」を販売している。

通電火災とは、地震



▶アース付きコンセントに差し込むのみ

などの災害時に生じた停電が、復旧する際に起こる火災を指す。通電が再開し、災害時に破損した電源コードから火花が飛んでしまうなどして起きる現象だ。

阪神・淡路大震災や東日本大震災では、原因を特定できた地震火災のうち、電気起因とする火災が半数以上を占めた。

これを防ぐためには避難時にブレーカーを落とす必要があるが、焦りから忘れることも多い。また、そもそも災害時に自宅を留守にしていた操作ができなかったり、空き家であるため人がすぐに駆け付けられなかったりして、人的な対応には限界がある。

同製品は、人が立っていられない強さであ



三和商事
小林正樹社長

る震度5強以上の揺れを感じた際に、自動的に電力供給を遮断することで、停電復旧時の通電火災を防ぐ。設置工事は不要。アース端子付きコンセントに同製品を一つ差し込むだけで、自動的に自宅全体の通電を遮断することができる。

揺れを感知してからブレーカーが落ちるまでの時間は、ボタンを押すのみで調整するこ

とが可能だ。室内がすぐに暗くなると、避難経路の確認や周囲の状況把握が困難になり危険なため、30秒〜3分まで選択できる。価格は9900円（税込み）だ。

小林正樹社長は「賃貸住宅のオーナーは入居者、物件、そして街を守るため主体的に防災対策に取り組んでいただければ。また、この感震ブレーカーを設置しておくことにより、防災機能付き物件として、他の物件との差別化にもなると考えられる」と話す。